ニュース専修
●「専修大学」ホームページ● https://www.senshu-u.ac.jp/
毎月１回15日発行
発行所
専修大学広報課
〒101-8425
東京都千代田区
神田神保町3-8
☎03-3265-5819（直）

主なニュース

大学院公開講座「企業のESGと商学研究」……❷
経営・中村ゼミ　販促コンペで入賞……❸
全長55㍍「東海道分間延絵図」展示……❹
石巻専修大学 理工・鈴木研究室が研究紹介……❻
専大スポーツ……❼❽

創立147年 鳳祭





創立147年鳳祭が11月6日から8日まで、生田キャンパスで開催された。
今年のテーマは「バグれ青春」。期間中は学生や卒業生、地域住民ら多くの来場者が訪れ、それぞれの〝青春の一日〟を満喫した。
屋内外で100団体以上が出店。工夫を凝らした模擬店や作品展示などでもてなした。また、ステージではライブやさまざまなパフォーマンスが披露されたほか、豪華ゲストも登場し、大きな盛り上がりを見せた。
さわやかな秋晴れとなった３日間。鳳祭実行委員会によって鮮やかな装飾で彩られたキャンパスは、にぎやかな歓声に包まれた。
（５面に写真特集）

第103回箱根駅伝予選会 総合４位



予選突破を喜ぶ部員、関係者、応援団ら【撮影】君嶋悠樹さん（経済３）

２年ぶり73回目の本戦出場決める



沿道からの声援を受けてラストスパートをかける上山詩樹さん（経済４）　【撮影】宇佐美穣さん（文３）

10月17日に行われた第103回東京箱根間往復大学駅伝競走予選会で、陸上競技部が、10時間33分42秒で総合４位となり、２年ぶり73回目の本戦出場を決めた。目標としていた総合３位にはわずか１秒差で届かなかったものの、昨年の予選会の悔しさを晴らした。
予選会は１チーム10～12人がハーフマラソンを走り、上位10人の合計タイムを競う。
長谷川淳監督は「本戦でシード権を狙うためにもチャレンジをしないといけない」と、集団走ではなく、各自の判断で走ることを重視。１㌔のペースを「最低３分」に設定し、特に疲れが出る後半に重きを置いた作戦を提示した。
チームトップとなる好走で個人総合18位に入ったのは、ハーフマラソン初挑戦の向田泰誠さん（経営２）。夏合宿での仕上がりがよく、長谷川監督からもエースへの期待が寄せられていた向田さんだったが、１時間２分41秒で自己新記録をマークする走りを見せ、結果で応えた。
チーム10番手となる田口萩太さん（文３）がゴールした時点で、出場校の中で最も早く10人の完走者をそろえた。合計タイムでも、２位中央学院大とは11秒、３位東海大とは１秒という僅差だった。
ただし、本戦では予選会以上に速いレース展開になることが予想される。長谷川監督は「今回走っていないメンバーにも力のある者がいる」とチームの層の厚さを強調。主将の平松龍青さん（経済４）も「他大学のエース級と戦える力をつけていきたい」と本戦に向けてスピードの向上を誓った。
「本戦に備えて春先からやってきた」と長谷川監督。目指すは20年ぶりとなる本戦での10位以内、翌年のシード権獲得だ。
（専大スポーツ編集部　小畑祐人さん・文３）
※８面に関連記事

専修大学・石巻専修大学「社会知性（Socio-Intelligence）の開発」推進募金
箱根駅伝出場応援募金
本戦に向け鍛錬を重ねる陸上競技部へのご支援をお願いします。
専修大学募金局 ☎03・3265・3157
申し込みはこちらから

